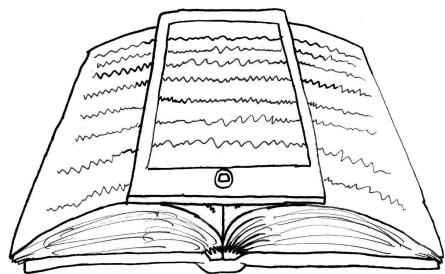


Tosa Tadoku Manual



April 2020

多読を始めましょう！

多読では、日本語に訳さず、英語を英語として読んでいきます。

多読3原則:

1. 辞書は引かない
辞書を使わないとストーリーが分からないのは、その本が難しすぎるということ。もっと簡単な本を選びましょう！
2. 分からないところは飛ばす
知らない単語は、意味を推測するか、飛ばして読みましょう。飛ばし読みする部分が多すぎてストーリーが追えないようなら(95%の理解度が理想)、その本はやめてもっと簡単な本を選びましょう。
3. 進まなくなったらやめる
長い本を読み始めると、途中で飽きたり、進まなくなってしまうことがあります。そんなときはその本はやめて、もっと面白い本を読んでかまいません。

一番大切なルール:楽しむこと！



本の入手方法

図書館にある英語の本のうち、背表紙に丸いシールがついているものは、Mreaderのサイトでクイズが受けられます。本を返却するときには、必ず、次の本を借りましょう。(まれに、Mreaderサイトにクイズがないものがあります。見つけたらOC担当の先生に申し出てください。)

本校図書館で借りた本をOCの授業や空き時間にいつでも読めるように、常に準備しておくこと。図書館で借りられる洋書は1人一回2冊まで。

tosaenglish.comにはe-bookや動画もあります。図書室の本が借りられないときは、ぜひ利用してください。

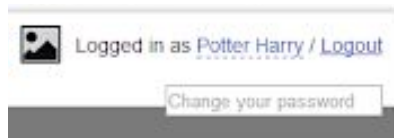
Mreaderのログイン方法

まずMreader.orgを開きます。（もしこの時点で、前の人ログイン状態が残っているようであれば、右上のlogout をクリックしてください。）次にusername に tosa-図書番号（学生証明書のバーコードの下に書いてある6ケタの番号)を入力し、初回だけ、パスワードにtosaと入力してください。



パスワードの変更方法

Mreaderを初めて利用する際、必ずパスワードをtosaから別のものに変えてください。方法は、まずログインした後、画面の右上の自分の名前をクリックします。するとインプットボックスが出てくるので、そこに自分の新しいパスワードを入力します。パスワードの入力に誤りがないように十分注意しましょう。新しいパスワードは必ず自分で控えておくと同時に、担当の先生の指導に応じて提出してください。パスワードの管理はプライバシーの保護という観点からとても重要です。みだりにパスワードを教えたり、人のパスワードを聞き出してログインしたりしないようにしましょう。



Mreaderクイズ

本を最後まで読み終わったら、画面上の「View Available Quizzes」をクリックして、次の画面で「Enter search words」の緑のボックスでその本を探します。6割以上の正答率で合格となり、その本の語数があなたのアカウントにプラスされます。ただし、一度不合格になってしまうと、もうその本のクイズは受けられないので注意すること。また、3回連続不合格となった場合、適正に本を読んでいないと判断され減点となるので注意してください。なお、Mreader上のクイズへのアクセスは、学校のiPadおよびコンピュータからのみアクセス可能です。

Mreaderのレベルについて

Mreaderにおけるレベル（Mreader Level）は、あなたが中2以来読んできた現在の総語数に応じて決定されます。基本的にそのレベル以下のクイズしか受けられません。例えば、レベル1だとすると、読めるのはピンク（レベル1）か白（レベル0）のシールが貼られた本だけです。仮に紫色（レベル2）や黄色（レベル3）の本を読んでもクイズは受けられません。

“Term Goal” について

定期試験ごとの目標設定（Term Goal）は、各自のレベルに応じたものになります。例えば、レベル1の人であれば、Mreaderで満点を取るには次の定期試験までに10,000語、レベル2の人であれば15,000語を読まなければならない（表参照）。個々に目標語数が異なる点に注意してください。

レベルアップについて

定期試験前の指定された締め切り日までに“Level-Up Target”に達したら、その定期試験後に次のレベルに進むことができます。例えば、レベル1の人であれば、50,000語でレベルアップとなります。

こうしてレベルを上げた人には、成果を評価し3点の「ボーナス点」を与えます。レベルが上がっても、自分のレベル以下の本は読むことができます。レベルが上がると、その次の定期試験に向けた目標（Term Goal）も上がります。例えば、レベル1の人であれば、レベルが上がると、“Term Goal”は、レベル2の15,000語となります。つまり、読むべき語数は増えますが、読書スピードが上がっている上に本の長さに比べて受けるべきクイズの数は減るので、結果として時間はそれほどかからないでしょう。

Mreader Level	Term Goal	想定冊数 /term	Minimum Words	Level-Up Target	英検
0	5,000	13冊	1,000	10,000	5
1	10,000	10冊	2,000	50,000	4
2	15,000	8冊	3,000	100,000	3
3	20,000	7冊	4,000	170,000	3
4	24,000	5冊	5,000	250,000	pre2
5	28,000	4冊	6,000	350,000	pre2
6	32,000	3冊	6,000	500,000	2
7	34,000	1冊	7,000	650,000	2
8	36,000	1冊	7,000	800,000	pre1
9	38,000	1冊	8,000	1,000,000	pre1
Harry Potter	40,000	1冊			1

“Minimum Words” について

どのレベルにも、“Minimum Words”（最低語数）の規定があります。全員この規定を守ってください（表参照）。例えば、レベル1の人であれば、

2,000語が“Minimum Words”です。定期試験前の指定された日までにこの基準に達していない場合、放課後の「Mreader補習」に呼ばれることになります。

読書時間の確保

Mreaderに充てる時間は、毎週のOCの授業時間内の10～15分だけでは足りないのが普通です。“Term Goal”を達成して満点を取得するには、図書館で自ら本を借りて家でもさらに読む必要があるでしょう。たいていの場合、週に10～15分ほど時間を割けば足りるはずですから、注意して努力を怠らないようにしましょう。

“Super Reader Bonus”

多読を含めた英語学習によりあなたの英語力は確実にアップします。かなりの努力家で“Term Goal”の2倍読んだ人には、“Super Reader Bonus”として特別に3点を与えます。常にこのペースで読み進めた場合、高校卒業までに100万語を読了することができるでしょう！こうなると英語はもはや難しくなくなり、英検1級の取得も可能となるでしょう。Harry Potterのようなペーパーバックを原書で読めるようになります。計算上、1日7分、毎週45分の英語読書で、誰でもこの目標を実現させることが可能です！

iPadまたはMreaderがうまく動かない場合

- **Mreaderに入ったら、自分ではない人の名前でログインされている！**
⇒入力ミスです。ログアウトしてもう一度入り直しましょう。番号を間違わないように！
- **Mreaderの中に読んだ本がない！**
⇒入力時につづりミスをしていませんか？ちゃんとスペース（半角で1つ）を単語と単語の間に入れていませんか？あるいは、本の名前の後にスペースを入れていませんか？
⇒本の題名全てを入力せずに、題名の単語1つか2つだけ入力して検索してみましょう。
⇒クイズがない本かもしれません。本にシールが貼られてないものは、クイズがありません。担当の先生が図書館の手島先生に申し出てください。
- **本が出てるのに、押してもクイズの画面に行けない（本が無反応）。本の画像の周りが赤く縁取られている。**
もしすべての本が赤いラインで囲まれている場合、もしかすると、何らかの理由でまだ別の本のクイズが終わってない可能性があります。クイズを終わらせないと、他の本のクイズは受けられません。それが原因でない場合は、うまくログインできていないので、一度ログアウトして、再ログイン

ンしてみてください。さらにそれでもだめな場合は...

⇒その本は、以前にクイズを受けて、不合格になっていませんか？一度不合格になると、Mreader上で二度とクイズを受けることはできません。
⇒同じ本が他の出版社からも出されている場合、同じ本で2回クイズは受けられません。（不正防止のため）
⇒その本を読むにはまだレベルが足りてないかも。（自分のレベルに合った本を読みましょう。）

- **パスワードを変えて、忘れてしまった。**
⇒そうならないようにパスワードは覚えやすいものにし、生徒手帳などに記録しておきましょう。それができていなかった場合は、担当の先生に相談してください。

- **クイズを受けている時にiPadの調子が悪くなり、クイズを終わらせられなかった。**
⇒OC担当の先生に相談してください。

- **クイズに合格できない。**
⇒クイズは簡単なものがほとんどです。現状に合ったレベルの本を読んでいれば、合格できるのが普通です。クイズに合格することが活動の目的ではありません。多読で英語力をアップさせることが目標です。むやみに自分のレベルより高い本に挑み、語数を増やすことだけにとらわれないようにしましょう。

- **時間をかけてかなり長い本を一生懸命読んだのに、クイズに合格できなかった。かなりダメージが大きいです...**
☑OC担当の先生に相談して下さい。場合によっては、その本のテストをもう一度受けるチャンスを与えることもあります。が、まずはそういう事態にならないよう、しっかりと力がつくまで自分のレベルに合った本を読むようにして下さい。

Mreader注意事項（ペナルティになる場合）

- 自分のログイン情報（アカウント名やパスワード）を人に教えた場合、または、人のログイン情報を聞き出したり盗み見たりした場合
自分およびクラスメートのアカウントを守る（プ



ライバシーの保護) という観点から、これらは不正な行為とみなします。

・ **1つの本を友達と一緒に読んだり、クイズを一緒に受けたりした場合**
自分が読んだ本の情報を友達に与えてクイズの解答を助けたり、友達にクイズの答えを聞いたり、また、1冊の本を友達と分担して読んだりするのは試験における不正な行為と同じです。多読は自分の英語力向上のためのものです。目の前にある点数にとらわれず、長期的に見て自分にプラスになるようにしてください。なお、本の又貸し(自分が借りた本を人に渡すこと)は図書館の規則で禁止されています。

・ **本を読まずにクイズを受けた場合**
多読の目的はクイズに合格することではありません。本を読まないうちからクイズを開き、答え探しに取り掛かるのは本末転倒です。クイズは内容の理解をチェックするためのものであり、クイズに合格することで多読が進んでいると考えるのは間違いです。まず本を通して読みましょう。それが出来ない人は不正な行為をしていると疑うこともあります。

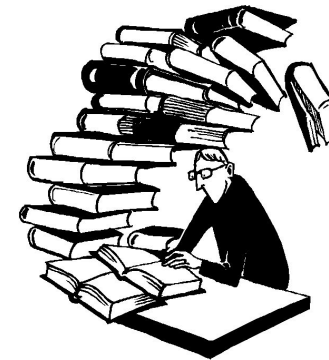
ただし、時々分からない単語や文があった時にそれを飛ばして読み進めるのは構いません。多読においてはむしろ必要なことでもあります。(でも、それが頻繁に起こるようであれば、自分のレベルにあってないということなので、もっと易しい本に変えてください)。絶対に避けるべきは、時間がないとか、面倒くさいという理由でページを全部飛ばしたり、章を飛ばしたりすることです。

・ **似ている本のクイズを受けた場合**
クイズを受ける時は、絶対に自分が読んだ本のクイズを受けるようにして下さい。例えば、「自分が読んだ本と同じような内容」で、「自分が読んだ本より語数が多い本」のクイズを故意に受けると、不正な行為となります。

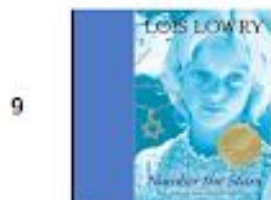
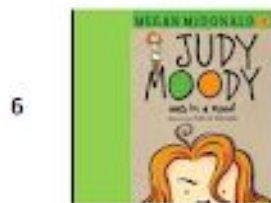
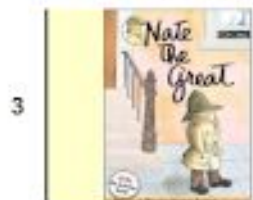
・ **不正な行為が疑われる場合**
Mreader上には様々なチェックシステムがあり、不正な行為の可能性があった場合は先生に連絡がきます。その場合、先生がその生徒を呼んで本当にその本を読んだのかどうか、色々質問をして確かめることもあります(例えば本の内容を聞いたり、など)。もし本当に本を読んでいたのであれば問題ありませんが、きちんと読んで無かった場合は、不正な行為とみなされる場合があります。(不正な行為はもちろん駄目ですが、呼ばれた時には正直に答えるようにして下さい。)
Mreaderを利用した多読の活動は課題として評価にかかわります。また、不正な行為があった場合は、そのクイズを受けた本の語数の150%(1000語の本なら1500語)を累積の語数からマイナスすることにします。

・ **大局的にとらえて**
不正な行為についてページを割いて説明しましたが、ここまでの説明にならない場合でも、OC担当の先生が不正行為と判断した場合はアウトになります。Mreaderの本来の目的は、英語で読書を楽しむことです。調査によると、多読は生きた英語が使えるようになるためのベストな方法の一つです。Mreader上で不正行為をすることは、自分自身を騙して可能性を駄目にしてしまうことなのです。

Enjoy your reading
and read a lot!



レベルの代表的な本



Name () Home ()

iPad使用上のルール

- 絶対に画面の設定を変えないでください。
- 先生が指示を出さない限り、読書に必要なアプリを開かないでください。
- 使用中は机の上に置いてください。